

戸田市まち・ひと・しごと創生
総合戦略効果検証会議

提 言 書

戸田市まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証会議

平成28年12月

目次

1 提言に当たって	1
2 各事業に対する意見	1
(1) 保育環境充実事業	1
(2) 市内介護施設との連携による生活困窮者等の人材育成及び就労の促進事業 ..	2
(3) 市内企業との連携による生活困窮者等の就労・社会参加の促進事業	2
(4) 戸田市起業家育成支援事業	3
(5) アンテナショップの整備に対する支援事業	4
(6) 戸田市の魅力 PR 事業	4
(7) スマートフォン用アプリ「toco ぷり」を活用した地域コミュニティ向上事業	5
3 事業別「指標に対する事業の評価」及び「今後の方針」について	6
4 おわりに	6
<参考資料>	7
1 戸田市まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証会議要綱	7
2 戸田市まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証会議委員名簿	8
3 会議開催日	8
4 意見交換時の参考資料（会議資料から抜粋）	8

1 提言に当たって

私たちは、戸田市が進めている「戸田市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）」について、市長からの依頼を受け、平成27年度に実施した事業の効果等について意見交換を行いました。

本会議は、市民、まちづくりに係る団体等の関係者、産業関係者、学識経験者、金融関係者、メディア関係者、労働関係者により構成され、それぞれの立場から多様な意見が出されました。

本会議では、平成27年度に実施した事業のうち、特に重点的な取組として、国からの交付金¹を受けた事業を中心に検証を行いました。概ね、各事業において求めた成果が得られたと考えますが、今後、より効果的な事業となるよう、さらに取組を発展させていくことが期待されます。

この提言書が、今後の総合戦略の推進及び見直しを図る際に最大限尊重され、戸田市の地方創生の実現に向けて、より良い事業展開に生かされるよう望みます。

2 各事業に対する意見

本会議で検証した7事業について、事前に委員から提出があったコメントシート及び会議における発言に基づき意見を整理しました。既に十分取り組まれている内容もあると思われませんが、改めて重要性等を認識いただくとともに、今後の事業の改善ポイントとして活用してください。

(1) 保育環境充実事業

①事業内容、実績等の評価

- ・子育て世代が多い戸田市では、大変重要な事業であると考えます。講座開催の結果31名の認定者を創出し、実際に活躍できていることは素晴らしい実績です。今後は認定者の定着度合、実際に事業に従事した経験から出てくる当該講座の課題、改善点等をまとめて、次回講座実施時に活かしてください。
- ・民間保育園などにおいても子育て支援員が活躍できるよう今後も拡充していくべき。十分な子育て支援員の人数を確保できるようにさらに進めてほしいです。
- ・直接的に待機児童解消にはつながっていないが、保育に関わる人材を増やすことで、今後の待機児童対策においても効果が得られる事業になっています。
- ・災害時用避難車の配備については、防災面の強化に直結する事業です。安心して子どもを預けられる環境づくりに寄与しており、今後も新設保育園等を中心に、できる範囲で強化を継続してほしいです。

②今後の事業展開に向けて

- ・認定された子育て支援員の活躍の場（勤務先）の仕事のニーズに対する充足度を把握し、その向上に向けた取組を進めることが必要です。
- ・市内の保育士資格保持者の登録制度があると、働き方の選択肢として子育て支援員を紹介し、裾野を広げられると考えます。

¹ 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）

・認定を受けた子育て支援員が活躍できる場をさらに増やす必要があります。また、働く場を通して、子育て支援員同士や保育園との連携など、つながりを広げていくことが重要だと考えます。

・今後の事業展開については、子育て支援員増員を継続するとともに、特に子育て支援員の働く場の拡充など、さらに発展的に進めていくことが必要であると考えます。

（２）市内介護施設との連携による生活困窮者等の人材育成及び就労の促進事業

（３）市内企業との連携による生活困窮者等の就労・社会参加の促進事業

※（２）及び（３）は、関連が深く、同様の事業であるため、一括して記載します。

①事業内容、実績等の評価

・結果、3か月以上の就労者を創出したことは素晴らしい実績です。成功・失敗の要因分析、改善策をまとめる等、PDCA サイクルを回して、さらに効果、効率を上げてほしいです。

・就労支援（介護施設）はほぼ目標を達成していますが、介護資格取得のための養成講座の受講実績がなく、その要因の分析と対応策の検討が必要です。

・就労の機会を提供し、フルタイム雇用への移行、就職後の定着を図るためには企業との連携が必要であり、今後も継続して取り組んでいくべきと考えます。

・当事業により就労経験を得たものは、次の就労先への支援にその情報が活用できます。

・就労支援（一般企業）は面接人数も16名となっており、またその半分の8名が3か月以上の勤務につながっています。顕在化に至る事前の対応として有効性が認められます。

②今後の事業展開に向けて

・専用求人开拓員を選任するなど、通常就労への移行ハードルが高くなるように工夫できます（ハローワークとの協働）。

・就労に際し、慣らし期間を設け、集団で作業へ参加し、短時間～通常就労へのステップを実施した上で、就労が可能な人材を紹介していく仕組みづくりにより、就職後の社会常識の欠如による解雇を防ぐことが重要です。

・就労に困難を抱える方や、長期のブランクがある方などにとっては、短時間、単純労働から就労経験をし、段階的にフルタイムへの意向や長期間の就労を目指すことが必要です。

・人材育成に関し、就業をする上での生活習慣の改善が必要です。

・約束の時間に外出ができるか、等レベルに応じた支援が必要です。

・就業前に社会人としてのスキルチェック、向上を図ることが必要です。

・生活困窮者に対して、できるだけ広く周知することが必要です。

・短い時間の労働から長時間労働へつなげることが重要です。生活困窮者等の方の労働に関するブランクをつなげるような仕組みが必要です。

・生活困窮者等に限らず、若年のころから、職業訓練等を受ける機会を持つことも、長い目で見ると有効だと考えます。

・一般就労の前の就労訓練について、対象者が自分に合った訓練を受けられるように、多段階の訓練メニューを用意するなど、より充実させる必要があります。

・長い目で見ると、企業が受け入れられるところまでスキルやマナーをレベルアップさせる支援・仕組みを構築していく必要があります。例えば、外出できる、決まった時間に来る、

などが考えられます。

- ・実際に生活困窮者等が就労された成功事例のようなものを見える化していくとよいと思います。
- ・協力企業や介護施設を増やしていくことが必要。成功事例を PR していくことが効果的と考えます。
- ・人材不足分野である介護職の人材確保という面でも効果があります。介護職従事者確保という面では、今後は外国人の積極的な受け入れ態勢も検討すべきと考えます。
- ・今後の事業展開については、今回の事業における成功体験を生かし、実績を積み重ねていくことが重要ですが、より多くの生活困窮者等の就労等を図るには、協力企業や施設の増加や就労までのきめ細やかなステップの設定など、さらに事業を発展させることが必要です。

(4) 戸田市起業家育成支援事業

①事業内容、実績等の評価

- ・セミナー開催により、3件起業の目標達成は素晴らしいです。成功・失敗の要因分析、改善策をまとめる等、PDCA サイクルを回して、次回以降セミナーの効果、効率を上げてほしいです。特に、セミナー委託事業者の集客実績に基づき、見直していくことが必要です。
- ・事業の評価指標として、セミナーの開催回数だけでなく、セミナーの参加者数についても挙げるべきです。また、戸田市内での年間の起業者数について把握されていると効果が検証しやすいです。

②今後の事業展開に向けて

- ・起業を検討する方は、都内のセミナーにも多く参加しています。市内のセミナーに参加するメリットやウリなど付加価値を高める必要があります。例えば、戸田で起業しやすい業種を対象にしたセミナー（ネイルやエステなど女性が活躍できる業種、等）や地域密着型セミナー（地域の金融機関や企業との連携）などが考えられます。
- ・セミナーの集客が不可能な場合は、セミナーポータルサイトなどの利用により、マーケティング実施の上、集客を行うことができます。併せてシェアードハウスの PR も実施できます。
- ・セミナーの委託業者はできるだけ戸田市内事業者を活用した方が、集客や戸田市近隣の情報を生かしたセミナーを開催できます。業者選定も良く考えてほしいです。
- ・市内金融機関との提携は重要であり、資金調達やセミナー講師紹介、戸田市における起業のポイント提示など、連携のメリットも大きいので、ぜひ相談してほしいです。
- ・参加者数、居住地、起業におけるスキルニーズの内容等の詳細な把握と、資金提供側から見たビジネスプランの評価など関係者の有機的な結びつきを含む、システムの明確化が必要です。
- ・チャレンジ精神に富んだ人の移住促進策を考えるのも良いと考えます。1人住むと、そこからのネットワークで2人目3人目の移住につながっていく可能性もあります。
- ・起業した方が市内に根付くためのオフィスが不足しているのではないのでしょうか。戸田市起業支援センター「オレンジキューブ」の活用（稼働率向上、周知 PR 強化）に加えて、

民間物件の十分な確保が必要です。

(5) アンテナショップの整備に対する支援事業

①事業内容、実績等の評価

・戸田市観光情報館トビック（以下「トビック」という。）の来場者数は目標に対し、ほぼ9割の達成率を示しており、一定の実績を示しています。しかし、アンテナショップという点では、市内・市外への広がり等実態を明らかにし、その結果に基づき、発信機能の向上に向けた取組が必要になると考えられます。

②今後の事業展開に向けて

- ・トビックの認知度が低いです。立地は良いので、普段から周知できる取組やトビックに足を運ぶ仕掛けなど、PRに工夫が必要です（戸田公園駅改札やバス停からの導線強化や、定期的に人が集まるイベントや販売会の実施、市内イベントでトビックとして出店する等）。
- ・テレビでの宣伝を検討してください。デイリーニュース（J:COM）での告知や番組の中でトビックや市内店舗を取り上げることができるため、告知、認知、宣伝等での協働が可能です。
- ・金融機関の店舗等で、チラシや雑誌の配架が可能です。
- ・市役所内にもPRコーナーがあると良いと考えます。
- ・トビックへの来場者数だけでなく、来場目的やニーズ把握などを分析することで、リピーターの確保や具体策が見えてくると考えます。

(6) 戸田市の魅力PR事業

①事業内容、実績等の評価

- ・「るるぶ戸田」は手に取りやすく、大変わかりやすいです。戸田市の魅力を伝えていく上で、非常によいツールとなっています。配布数も含め、評価できる事業と考えます。
- ・協力事業者数目標達成の上、冊子制作、配布することが出来たのは、素晴らしいです。
- ・「るるぶ戸田」の作成はその配布数とともに評価できます。

②今後の事業展開に向けて

- ・可能であれば、QRコードで情報を取り込むことができるようにするなど、スマートフォンを意識するほか、例えばトビックとの連携等、更なるPRの工夫が必要です。
- ・J:COMとして、戸田市の魅力PR事業の告知、認知、宣伝等で協力出来ます。
- ・単発で終わらせず、継続して認知度を上げていくことが重要だと思います。例えば、居酒屋やバーなど夜のお店をテーマにしたものや、夫婦世帯や単身赴任者、東京オリンピックの観光客などをターゲットにしたるるぶの作成を検討してほしいです。
- ・トビックと連携して、イベント企画や販売物品の検討を行うべきと考えます。
- ・配布先を市外にも広げていくことで、市外から転入者の増加などにつなげることも必要です。
- ・大学生や高校生との協働による「まちなか散歩マップ」「まちなかランチマップ」など、情報冊子を制作できないでしょうか。参加型まちづくりの一つとして検討してください。るるぶに比べて制作コストが低だけでなく、若年層がまちづくりに参加することでま

ちが活気づくとともに、戸田市への愛着醸成にもつながると考えます。

- ・ 今後は、協賛を募りながらも、継続的に冊子を作成し、情報発信していくことが大事だと考えます。
- ・ これからはスマートフォンの活用が必須。見やすい電子冊子を作ると、外出先で検索・閲覧できるほか、外国人向けにも効果が高い。開発には企業や大学との連携によることも一手です。
- ・ 戸田市内のスポットでは、公共の無料 Wi-Fi を利用できるように整備することが望ましいと考えます。

(7) スマートフォン用アプリ「toco ぷり」を活用した地域コミュニティ向上事業

①事業内容、実績等の評価

- ・ 市側の情報発信だけでなく、利用者側の投稿もできるようになっており、双方向で情報共有ができるよいツールであると思います。
- ・ 指標はダウンロード数となるが、その後の利用者数を増やしていく取組が重要です。
- ・ 投稿数アップ目標を達成できなかったのは、非常に残念ですが、時代の趨勢でアプリ活用は必須です。目標未達成の要因分析、改善策をまとめる等、PDCA サイクルを回して、効果、効率を上げ、投稿数を増やしてほしいです。
- ・ toco ぷりのことを知らない人が多いと感じるため、登録している方を増やす方向性は良いと考えます。使い方や周知については、スマートフォンを意識し、YouTube で説明するなど、toco ぷりを知り、登録・活用してもらうための工夫が必要です。
- ・ toco ぷりをもう少し幅広く活用できたらいいと感じます。例えば、市内開催のイベントカレンダーや、ごみの分別方法やゴミの日のアラート機能、また、公共施設の不備や不具合（道路から水が噴き出している、木が邪魔で標識が見えない、など）を市民が画像付きで投稿・共有できる仕組みが考えられます。
- ・ 投稿数、ダウンロード数等その効果の把握が必要と思われます。その結果に基づき、より具体的な改善取組の方向性が明確になるとと思われます。

②今後の事業展開に向けて

- ・ J : COM として、toco ぷりの認知度アップ、宣伝等で協力することが出来る。
- ・ これまでは、toco ぷりを開いて、積極的に情報を見に行く必要がありました。今回付加した新着情報が表示される機能は便利です。
- ・ 学校などでも普及・活用できるのではないのでしょうか（不審者情報の発信など）。
- ・ 今後、さらに整備していく際には、起業家等の市内業者と連携することで、費用的にも抑えられるのではないのでしょうか。
- ・ 戸田市内のスポットでは、公共の無料 Wi-Fi を利用できるように整備することが望ましいと考えます。

3 事業別「指標に対する事業の評価」及び「今後の方針」について

各事業には、達成すべき目標となる指標及び目標値が設定されています。本会議では、目標値に対する実績値を踏まえ、各事業が目標達成に有効であったかどうか評価し（指標に対する事業の評価）、また、事業展開に関する今後の方針について、数値化しました。評価に当たっては、本会議において、各事業における意見交換の内容を総合的に勘案し、判断しました。

なお、各事業の評価は下表のとおりです。

表1 事業別「指標に対する事業の評価」及び「今後の方針」

No	事業名	指標に対する事業の評価 ¹	今後の方針 ²
1	保育環境充実事業	1	3
2	市内介護施設との連携による生活困窮者等の人材育成及び就労の促進事業	1	3
3	市内企業との連携による生活困窮者等の就労・社会参加の促進事業	1	3
4	戸田市起業家育成支援事業	1	3
5	アンテナショップの整備に対する支援事業	1	1
6	戸田市の魅力 PR 事業	1	3
7	スマートフォン用アプリ「toco ぷり」を活用した地域コミュニティ向上事業	1	3

4 おわりに

各事業の「今後の方針」については、“3 追加等更に発展させる”と評価された事業が多数を占めました。事業発展のポイントとして、より多くの市民や企業など多様な主体が関わっていくことが重要であると考えています。

今後の事業展開に当たり、本提言書に記された意見や評価を生かしながら、市民や企業、行政等による協働が進み、総合戦略が一層推進されることを期待します。

¹ 各事業において設定された目標指標に対し、取組内容が有効であったか評価。

【選択肢】 1：事業の目標指標達成に有効であった 2：事業の目標指標達成に有効とは言えない

² 今後の事業展開に係る方針に対する評価。選択肢は、国の交付金に係る基準に基づいたものである。

【選択肢】 1：事業内容の見直し（改善） 2：事業の継続 3：追加等更に発展させる
4：事業の中止 5：予定通り事業終了

＜参 考 資 料＞

1 戸田市まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証会議要綱

戸田市まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証会議要綱

平成28年10月17日市長決裁

(設置)

第1条 戸田市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）に係る施策や事業等の効果を検証し、総合戦略の推進及び見直しを行うため、戸田市まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証会議（以下「検証会議」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 検証会議は、次に掲げる事項について意見交換を行い、市長に結果を報告する。

- (1) 総合戦略に係る施策や事業等の効果検証に関すること。
- (2) 総合戦略の推進及び見直しに関すること
- (3) その他総合戦略の効果検証及び推進に関し必要な事項

(組織)

第3条 検証会議は、委員8名以内で組織し、次に掲げる者のうちから市長が依頼する。

- (1) 市民
- (2) まちづくりに係る団体等の関係者
- (3) 産業関係者
- (4) 学識経験者
- (5) 金融関係者
- (6) その他市長が必要と認めた者

(任期)

第4条 委員の任期は、依頼の日から当該年度の末日までとし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 検証会議に会長及び副会長を置く。

- 2 会長は委員の互選によるものとし、副会長は会長が指名するものとする。
- 3 会長は、会務を総理し、検証会議を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 検証会議の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、その議長となる。ただし、会長が選任されるまでの間は、市長が招集し、総務部経営企画課が進行するものとする。

- 2 会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。
- 3 市長又は会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に対し会議への出席を求め、

意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 検証会議の庶務は、総務部経営企画課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成28年10月17日から施行する。

2 戸田市まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証会議委員名簿

(敬称略)

No	区分	所属団体等	氏名
1	市民委員	市民	石川 浩乃
2	産業関係者	とだわらび青年会議所	江口 桂
3	学識経験者	明治大学経営学部 教授	藤江 昌嗣
4	金融関係者	埼玉りそな銀行戸田支店 支店長	新谷 志郎
5	メディア関係者	株式会社ジェイコム川口戸田 代表取締役社長	蒲原 成人
6	労働関係者	川口公共職業安定所 所長	菅沼 敬一

3 会議開催日

平成28年10月27日(木)

4 意見交換時の参考資料(会議資料から抜粋)

別表のとおり

【別表】

No	事業番号 ¹	対象事業の名称	事業内容	事業費 ² 実績額 ³ (単位:円)	KPI(重要業績評価指標)	
					名称(単位)	実績値/(目標値)
1	II-1-3	保育環境充実事業	保育環境の充実及びより安心・安全な保育を実現するため、保育の質の向上を目的として、市庁を対象に受講希望者を募り、一時預かり・地域子育て支援拠点事業従事者研修を実施(委託)する。また、災害時用の避難車(兼おでかけ車)を購入し、市内各保育施設へ1台ずつ交付した。	6,079,301	子育て支援員養成講座 受講者数(人) 災害時用の避難車(兼おでかけ車)を支給した市内認可保育所及び認可保育施設(施設) 37施設/(37施設)	32人/(30人) 【参考】受講者のうち、認定者数31人
2	III-1-3	市内介護施設との連携による生活困窮者等の人材育成及び就労の促進事業	生活困窮者自立支援制度と連携し、生活困窮者等への就労促進対策として、市内介護施設の雇用受け入れ態勢の構築及び、介護資格取得のための養成講座の受講に対する援助(賞金相当分及び受講料を補助)を実施した。	2,724,216	市内介護施設が生活困窮者等を雇用した人数(人) ※3か月以上安定収入を得た人数と同じ。 介護資格取得のために養成講座を受講した人数(人)	9人/(7人) 【参考】面接を受けた人数13人
3	III-1-4	市内企業との連携による生活困窮者等の就労・社会参加の促進事業	生活困窮者自立支援制度と連携し、生活困窮者等への就労促進対策として、市内企業が行う受け入れ態勢の構築及び雇用に対する支援(賞金相当分を企業に対して補助)を行った。	708,000	市内企業が生活困窮者等を雇用した人数(人) ※3か月以上安定収入を得た人数と同じ。	8人/(5人) 【参考】面接を受けた人数16人
4	III-2-2	戸田市起業家育成支援事業	【女性に特化した創業セミナー事業】 女性起業家を支援している企業又は団体と連携して、女性起業家の育成・支援を目的とした「創業セミナー」を開催した。 【起業家育成セミナー事業】 地域に潜在する起業家予備軍(学生、会社員等)の掘り起し及び育成を目的とした「創記セミナー」を開催した。	2,860,000	起業・創業の件数(件)	3件/(3件) 【参考】交付金を活用したセミナー申込者数計54人/(募集人数60人)
5	III-3-3	アンテナショップの整備に対する支援事業	【備品購入事業】 戸田公園駅前行政センター2階の戸田市観光情報館トピック内に常設のアンテナショップを設置するための備品を購入した。 【戸田市アンテナショップ事業推進補助金事業】 物産等の販売促進や観光振興に係るイベント活動を行う市内事業者・団体又は姉妹都市等に対し、出展にかかる経費の一部を補助した。	1,182,900	起業、資金調達等に関するセミナー開催数(回)	9回/(9回) 【参考】交付金を活用したセミナー3回(起業・創業を目的とした連続講座)、市単独でのセミナー6回(起業・創業3回、資金調達3回。いずれも単発のセミナー。)
6	III-3-4	戸田市の魅力PR事業	市内の魅力的な店舗、イベント等を市内外に発信するための「戸田市観光情報ガイド」を作成した。	6,751,988	戸田市観光情報館トピックへの来場者数(人)	15,197人/(17,000人) 【参考】平成26年度13,964人
7	IV-1-4	スマートフォンアプリ「tocoふり」を活用した地域コミュニケーション向上事業	市民の投稿しやすい環境整備や市民同士の交流促進等を目的とし、市民が自身の投稿を管理できるマイページ機能や、新たな投稿チャンネルの設定・管理できる機能などを追加する改修を実施した。	3,483,000	トピックの物品販売事業者数(事業者)	20事業者/(20事業者)
				委託料 6,751,988 合計 6,751,988	戸田市魅力情報ガイド作成について協力を得た事業者(事業者)	37事業者/(30事業者)
				委託料 3,483,000 合計 3,483,000	投稿数(前年比)(%増)	27%増/(50%増)
					「tocoふり」ダウンロード総数(件)	4,282件/(4,000件)

1 事業番号:「戸田市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン」における管理番号。同アクションプランにおける基本目標番号、施策番号、事業番号により付番されている。
2 事業費実績額: 国からの交付金を活用した事業費で、各対象事業において主となる事業費です(職員人件費や消耗品等に係る費用を除きます)。内訳は別紙の経費内訳報告書で確認いただけます。
3 事業経費内訳: 事業費実績の内訳。